

ブックちゃんの

2026年2月1日発行

ふじのみや探検



第48号 富士宮のモニュメントのひみつ

発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284



「平和の像 はばたき」

左の写真は、JR 富士宮駅南口にあるモニュメントです。見たことがありますか？このようなモニュメントは、公共的な所や道路わきなどに置かれていることが多いのですが、意外と気づかないで通り過ぎてしまいがちです。富士宮にはこのような※モニュメントがたくさんあります。どんないきさつで建てられたかなど、そのひみつをさぐりましょう。

※モニュメントとは、記念碑や銅像、慰霊碑など何かを記念したり、たたえたり、^{いれいひ}霊をなぐさめたりするために作られた作品のことです。

ひみつ1

しゅうかひ 富士山秀歌碑

2013年に富士宮市制施行70周年を記念して作られ、神田川ふれあい広場に置かれています。表面には新井満さんが作詞作曲した※「富士山」の歌詞が、裏面には、富士宮市の宝である富士山をのちの世まで大切に伝えていこうという趣旨が刻まれています。隣にある音響ボタンを押すと新井満さんの歌声が流れて、聴くことができます。除幕式では富丘小児童約50人がこの「富士山」を合唱し、歌碑の完成を祝いました。

※♪富士山学習発表会で歌われています。



ひみつ2 しんなし こうしんどう 新梨の庚申堂

庚申とは、庚申の日の夜に人が眠ると人間の体内にいるさん三ちゆうし虫が抜け出して、天帝にその人の悪事を訴えようと考えられていました。天帝はそれを聞いて人の命を短くするので、人々は、虫が抜けださないように夜通し酒宴をもよおし、眠らないようにしました。写真の右側が「庚申さん」と言われており、江戸時代の享保年間（1716～1736）に作られました。杉田の新梨のほこらの中にあります。



ひみつ3 やたていけ 矢立池の碑

富士の巻狩りのとき、源頼朝が矢を立てた所から清水が湧き出し、それが「矢立池」になったと言われています。（現在、この池は埋められています）

また、「矢立」は、すみ墨つぼのことで、池の水で墨をすったのではないかという考えもあります。あるいは、山の神に矢を手向け（矢立て）してから狩りをする風習があるので、矢立池の名前は弓矢に関連しているとも考えられています。いずれにしても伝説であり、記念の碑だけが残されています。1984年の町名整備で、「矢立町」という新町名になったのは、この矢立池が由来となっています。



ひみつ4 まるづか 丸塚（杉田）の道路改修記念碑

この記念碑は、地域の人たちで、狭かった道を車が通れるような道路に広げたことを記念して1957年3月に建てられました。裏面には、道路の改修に力をつくした人たちの名前が刻まれています。とうちようぶ頭頂部が少し破損していますが、これが残されていることで、周辺の地域の人たちの通行がとても便利になり、大変喜ばれたことなどが語りつがれていくのです。みなさんの身近なところにも小さな歴史が残されています。



ひみつ5

あんぬまようすいすいじん 安沼用水水神碑

あごやまずいどう
安居山隧道（トンネル）完成記念として1910年1月1日に建てられました。高さ7.7m幅7.1mの大きな自然の石をそのまま生かした碑です。石の中央部に「水神」と書かれています。隧道ができて沼久保に水が引かれ、お米が作れるようになったのですから、人々の喜びは大きく、当時は、水神さんのお祭りが行われました。道端に紅白の幕を張り、一晩中火をたいて、1月1日には花火を打ち上げて人々にお祭りを知らせました。大正時代は小学校の子どもたちが遠足に来た場所となっていました。現在、沼久保の旧道にひっそりとたたずんでいます。



ひみつ6

うえだごせんごく 上田五千石の碑

上田五千石は東京で生まれ、14歳から50歳まで富士市に居住し、富士地区を中心にして俳句をつくりました。富士高校（富士市）在学中につくった「青嵐渡るや加島あおあらし かじまごせんごくごせんごく五千石」の俳句が校内で評判になったので、以後「五千石」と名のりました。また、五千石は、富士山の開山に合わせてたびたび登山を行ったことから、山開きをよんだ句も多く、富士山せせらぎ広場には、写真の「山開きたる雲中にころろときざ刻まれたくひ句碑があります。



ひみつ7

かくへいきはいぜつへいわと しせんげんひょうちゆう 核兵器廃絶平和都市宣言標柱

富士宮市は、1984年10月核兵器のない世界をめざし、永久の平和を願って、核兵器廃絶平和都市を宣言しました。このことを市内外に広くアピールするために標柱の設置が行われました。このはじめは、市民の募金活動による資金が市に寄付されたことによります。現在、市役所、市総合福祉会館、くれいどる芝楽しばらく、中央図書館、芝川会館、学校給食センター、児童館、白尾山公園などに11基設置されています。

核廃絶の標柱がこれだけある都市は全国でも珍しいといわれています。



ひみつ8

せかいいさんきねんひょうちゅう 富士山世界遺産記念 標 柱

2023年6月18日富士宮市で、富士山世界文化遺産登録10周年記念祭が行われました。富士山が世界文化遺産に登録されて10年たったということで、ステンレス製の記念の標柱が市内で初めて建てられ披露ひろうされました。富士山と神田川などをイメージしたこの標柱は、富士山の湧水の恵みを受ける神田川ふれあい広場に置かれています。



ひみつ9

きしょう 「希翔」の碑

この碑は、富士宮第二中学校創立50周年を記念して作られ、1997年3月に、校長先生などの先生方と生徒会役員で除幕式が行われました。「希翔」という言葉は、生徒一人ひとりが未来に向けて希望をもって羽ばたいていけるようにとの願いをこめて生徒たちが作ったものです。中学校の東門を入れてすぐ正面にあります。



こうした記念碑は、たとえば、卒業記念碑など各学校にあると思いますので、見つけて、その歴史をさぐってみたらどうでしょうか。

『第48号・富士宮のモニュメントのひみつ』は、次の資料しりょう さんこうを参考にして作りました。

- 1 『岳南朝日』 岳南朝日新聞社 2013.2.10 2022.3.9 2023.6.20
- 2 『富士宮市歩く博物館パンフレット』 富士宮市教育委員会 2016
- 3 『富士宮市歩く博物館ガイドブック』 富士宮市教育委員会 2009.3.31
- 4 『日の出二区誌』 1997.3.20
- 5 『大宮町誌』 1930.3.31
- 6 『富士宮市ホームページ』 2018 2019 2023
- 7 『沼久保区誌』 1997.2.14
- 8 『朝日新聞』 朝日新聞東京本社 2017.8.3
- 9 『富士宮 中学校社会科地域学習資料（令和5年度版）』 富士宮市教育委員会 2023.4
- 10 『春の雁 五千石青春譜』 上田五千石 1993.10.24
- 11 『創立50周年記念誌 希翔』 富士宮第二中学校 創立50周年記念事業委員会 1997.6

